

富士山噴火に伴う降灰対策に

有事の際、建物屋根に火山灰が積もった状態で降雨が発生した時に、保有建物の雨水排水管への浸入を防止する特殊フィルター付のルーフドレンキャップです。

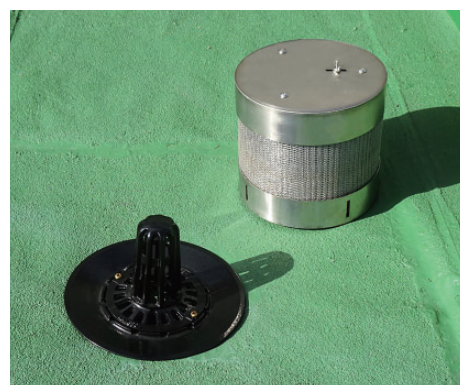
火山灰はルーフドレンキャップを透過することなく雨水のみを排水管に流し込みます。



たて引き用



よこ引き用



設置前の現地調査について

設置場所の寸法や周辺部の状況など事前に現地調査が必要です。
ルーフドレンの設置状況に応じた、ルーフドレンキャップを製作します。

設置後のメンテナンスについて

設置後はフィルター掃除などの定期的なメンテナンスが必要です。

設置例



内閣府および東京都の取り組みについて

富士山が噴火した場合、交通インフラの停止や電力をはじめとするライフラインの寸断等、生活や経済活動に大きな影響もたらされる可能性があります。このため、内閣府や東京都では、降灰対策の検討が進められています。



内閣府ホームページ

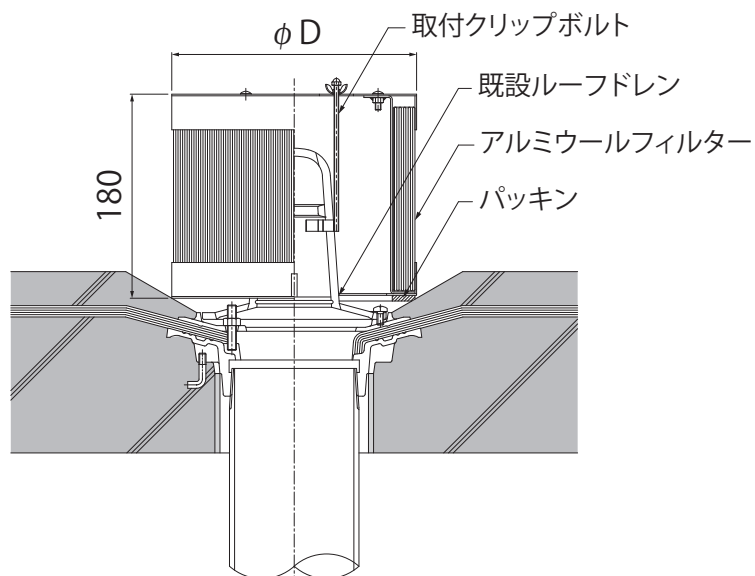


東京都ホームページ

HFC-V



参考納まり図



- 火山噴火に伴う降灰対策を想定した、特殊フィルター付です。
- 粒径60 μ m以上の火山灰をフィルタリング可能です。
- 有事の際、保有建物の雨水排水管への火山灰の流入を防ぎます。
- 新築のほか、既存建物に設置されたルーフドレンにも取り付けできます。

※キャップ寸法はルーフドレンの形状寸法に合わせて製作します。

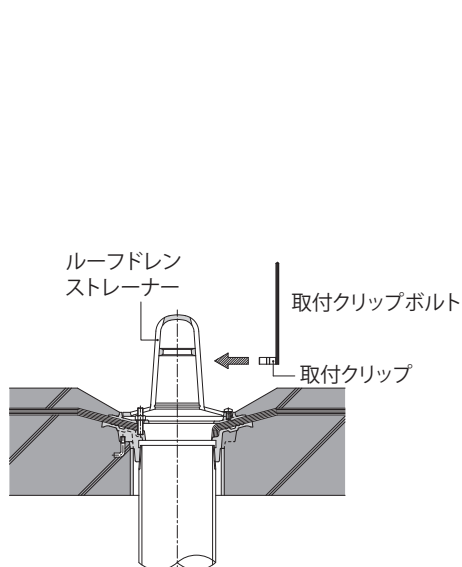
設置前の現地調査について

設置場所の寸法や周辺部の状況など事前に現地調査が必要です。ルーフドレンの設置状況に応じた、ルーフドレンキャップを受注生産で製作します。

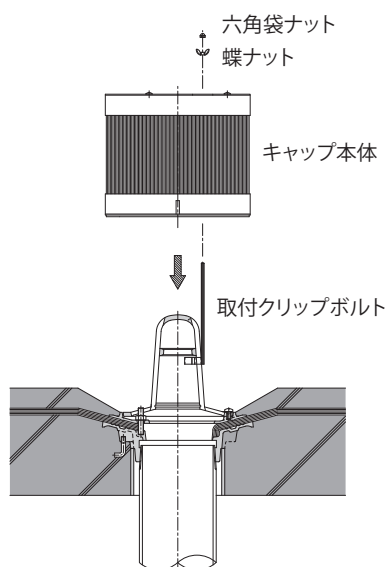
設置後のメンテナンスについて

設置後はフィルター掃除などの定期的なメンテナンスが必要です。

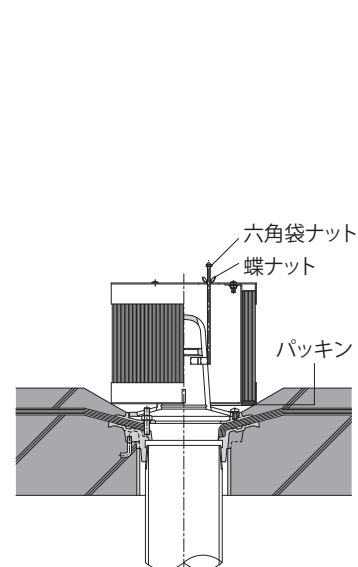
取付手順



- ①
ルーフドレンのストレーナーの開口部に、取付クリップボルトの取付クリップ部を差し込みます。取付後、取付クリップが簡単に外れないか確認してください。



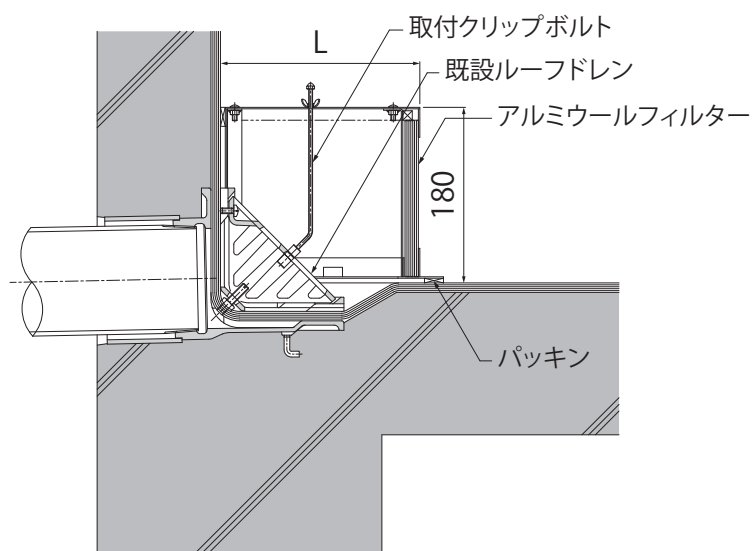
- ②
キャップ本体の天板に開いている長穴に、取付クリップボルトを通します。この時、ルーフドレンとキャップ本体の中心が、ほぼ同じになるよう位置合わせをしてください。



- ③
キャップ本体の下端に取り付けられているパッキンが、屋上面に全面密着していることを確認し、蝶ナットと六角袋ナットを取付クリップボルトに締め付けて完了です。

HFC-H

参考納まり図



- 火山噴火に伴う降灰対策を想定した、特殊フィルター付です。
- 粒径60 μ m以上の火山灰をフィルタリング可能です。
- 有事の際、保有建物の雨水排水管への火山灰の流入を防ぎます。
- 新築のほか、既存建物に設置されたルーフドレンにも取り付けできます。

※キャップ寸法はルーフドレンの形状寸法に合わせて製作します。

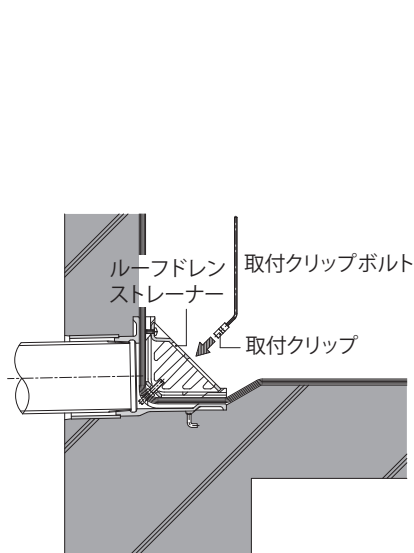
設置前の現地調査について

設置場所の寸法や周辺部の状況など事前に現地調査が必要です。ルーフドレンの設置状況に応じた、ルーフドレンキャップを受注生産で製作します。

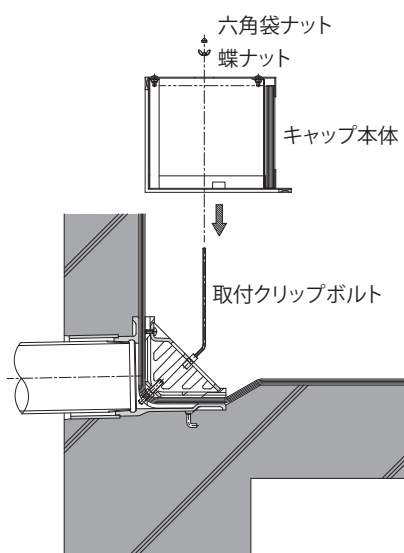
設置後のメンテナンスについて

設置後はフィルター掃除などの定期的なメンテナンスが必要です。

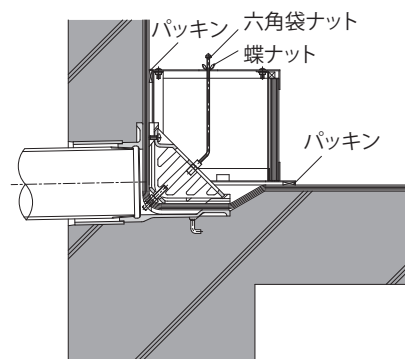
取付手順



- ①
ルーフドレンのストレーナーの開口部に、取付クリップボルトの取付クリップ部を差し込みます。取付クリップは、ルーフドレンのほぼ中心に取り付けます。取付後、取付クリップが簡単に外れないか確認してください。

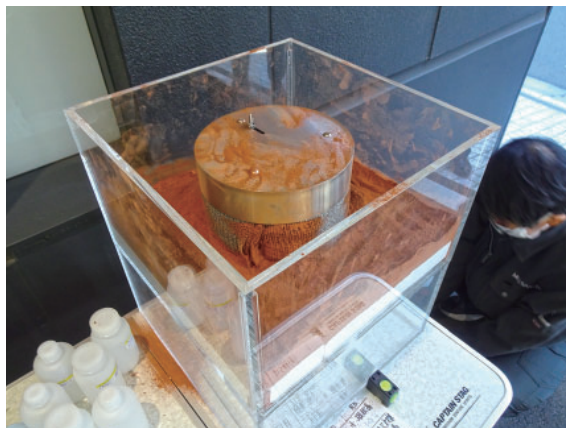


- ②
キャップ本体の天板に開いている長穴に、取付クリップボルトを通して。この時、ルーフドレンとキャップ本体の中心が、ほぼ同じになるよう位置合わせをしてください。



- ③
キャップ本体に取り付けられているパッキンが、パラペット面と屋上面に全面密着していることを確認し、蝶ナットと六角袋ナットを取付クリップボルトに締め付けて完了です。

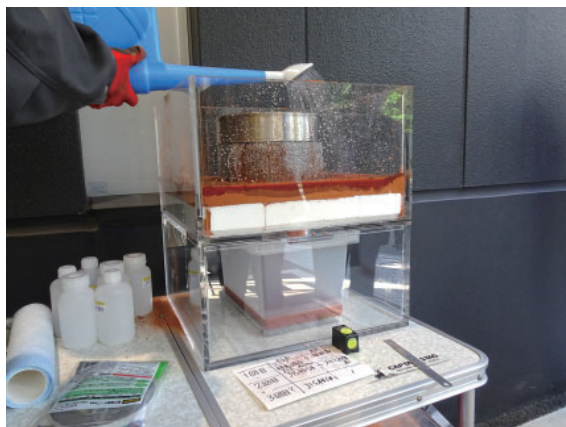
フィルターろ過性能試験



フィルターの種類 : アルミウールフィルター

火山灰の種類 : ①関東ローム層焼成
②北海道恵庭市採取
③鹿児島県桜島採取

試験方法 : ①火山灰をルーフトレンキャップの底面より70mm
相当の堆積状態とする。
②試験体上部より、均等に散水を行う。
③排水側に通過した火山灰の粒径を測定する。



試験結果 :
最大で粒径50 μ m程度の火山灰の流出であった。
富士山噴火時に東京で降灰するであろう火山灰の粒径60 μ m以上のフィルター通過は見られなかった。



製品についてのお問い合わせ・ご相談は最寄りの営業窓口までご連絡ください。

本社営業部	〒510-8101	三重県三重郡朝日町大字縄生81番地	TEL 059-377-3232 FAX 059-377-3905
東京支店	〒105-0004	東京都港区新橋六丁目9番5号 JBビルディング3F	TEL 03-3433-6645 FAX 03-3433-6637
仙台営業部	〒980-0804	仙台市青葉区大町一丁目1番8号 第3青葉ビル9F	TEL 022-214-8088 FAX 022-214-8089
大阪営業部	〒550-0005	大阪市西区西本町一丁目3番10号 信濃橋富士ビル10F	TEL 06-7639-5870 FAX 06-7639-5880
福岡営業部	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前四丁目8番15号 博多鳳城ビル6F	TEL 092-432-2532 FAX 092-432-4976

カネソウ株式会社

<名古屋証券取引所 メイン市場 上場 証券コード5979>

ホームページアドレス <https://www.kaneso.jp>
Eメールアドレス info@kaneso.co.jp



本カタログ掲載の製品仕様は、2025年3月現在のものです。
なお、改良などのため予告なく仕様を変更させて頂くことがあります。